

事業等名	農業支援サービス事業育成対策（令和４年度要求）	担当部局	農産局技術普及課
------	-------------------------	------	----------

（現状・課題） 農業者の一層の高齢化と減少が急速に進むことが見込まれる中、将来的に農業生産を維持・拡大していくためには、農業機械のシェアリングやドローンによる農薬散布代行等の新たなサービス等を早急に展開していく必要がある。 一部産地で農業支援サービスの取組が始まっているものの、機械等の初期費用の負担、専門人材の不足、ニーズが把握出来ていない等の課題により、十分な広がりを見せていない。	（現状・課題を示すデータ） ・基幹的農業従事者数 （175万人（H27年）→136万人（R2年））
--	---

インプット	アクティビティ	アウトプット	アウトカム （短期）	アウトカム （長期）	インパクト
予算（百万円） R1：－ R2：－ R3：95 R4：420	事業立ち上げ当初の取組を支援 ・ビジネス確立のためのニーズ調査 ・デモ実演等に必要な機械・システムの改修やデータ収集 ・農業支援サービス事業体が行う人材育成（研修費等）等	事業実施件数 【R2：一件、R3：7件】	事業実施主体の提供する農業支援サービスの活用が進展 指標①	サービス事業体が一定程度普及し、農作業の一部の委託を希望する農業者の多くが実際に作業委託可能となる 指標②	農作業を委託したいと考える農業経営体が実際に作業を委託することが可能になり、農業経営体の労働生産性が向上し、農業者の一層の高齢化と減少が急速に進む中にもあっても農業生産を維持・拡大していくことが可能となる。

指標①	当該事業のうち、事業実施主体の設定する成果目標（サービスを活用する経営体数、農地面積又は当該サービスの事業売上）の事業実施年度における目標達成率（R5年度目標：5割）	指標②	農業支援サービスの利用を希望する農業の担い手のうち、実際に利用できている者の割合（R7年度目標：8割）
-----	---	-----	---

外部の影響要因 ・担い手への農地集積の進展 ・スマート農業の進展